

# 古着伝言板



FRN

〒232-0017

横浜市南区宿町 2-40 大和ビル 101

Tel. 045-710-6507

Fax. 045-710-6508

ホームページ：<http://www.fiber.jp>

発行：ファイバーリサイクルネットワーク

ファイバーリサイクルネットワーク(FRN)は法人格を持っていませんが NPO 団体です  
行政や企業からの援助などは受けず経済的に自立している団体です

## 私たちの地区活動 —バザーやサークルも—

川崎・宮前・高津地区連絡会 島村 祥子

当連絡会は 20 年前に、かわさき生活クラブ宮前平デポのエコライフ委員会が立ち上げました。

最初 3 団体 2 個人宅で回収を始め、その後川崎の高津デポ、のぼりとデポ、他生協の店舗や個人宅も増え、回収量も最大で年間約 20 トン ありました。現在は残念ながら店舗数が 3 に減り回収量も 6 トン前後に落ちてしまいました。個人宅中心にチラシ撒きをしたり、デポや地域でアピールをしたりしていますが、あまり増えていないのが現状です。メンバーの高齢化も進み回収トラックへの積み込みがしんどい、という声も聞かれます。

それでも久しぶりに、20 年前の中野氏の講演録や資料を読み直しました。

当時は暮らしていく上でもっとも基本的な衣についてあまり知らず、中野氏の話は本当に「目からうろこ」でした。古繊維は 100%リサイクル可能な資源であること、アジアへ輸出する古着事情、たとえばアジアの 80%の人が古着を必要とし、子供のハンカチはとても喜ばれる、シャネルのスーツよりは暖かい肌着や下着が売れるなど・・・また FRN では収益の一部を第三世界の女性たちの自立支援の基金にしていること。とてもわくわくしたことを思い出しました。

現在はそれぞれのデポでミニバザーが交流の場になったり、裂き布ぞうりのサークルができたりと定着しています。



### 熊本・鳥取中部地震に対する緊急支援

今年も日本各地で災害が起きています。

FRN では「きものフェア」で募金箱を置き、FRN 基金と売上金から、その都度支援をしております。

・ 8 月 10 日 熊本地震支援 14,277 円 (着物フェア売上一部 13,633 円 着物フェア募金箱 644 円)

NPO 法人 川に学ぶ体験活動協議会(RAC 救援隊支援)

・ 11 月 18 日 鳥取中部地震支援 12,150 円 (FRN 基金 10,000 円 着物フェア募金箱 2,150 円)

神奈川新聞厚生文化事業団

## ◎夏のリサイクルきものフェア

7月5日(火)6日(水)

フォーラム南太田

来場者 450人

スタッフ 57人

着物のほどこをお願いしている地域作業所「あいの木きょうしん」の品物を販売するブースを設け、スタッフの方には直接お客様と対話ができ、楽しかったと喜んでいただきました



夏フェア会場入り口

## ◎秋のリサイクルきものフェア

10月25日(火)

かながわ県民センター

来場者 436人

スタッフ 43人

黒の羽織や喪服で作るベストを提案し、初めての試みとして実物大型紙も一緒に販売しました。今回は、お客様一人一人と丁寧に接する事ができ、会場内でお客様同士が情報交換をされるなどの交流が見られました



秋フェア会場入り口

## 地域との連携事業

### ① ふれあいパークまつり

6月5日(日) 蒔田公園

南区のファイバー回収のチラシ配布と、リテックス品や子ども向け小物を販売しました



### ② 明治学院大学ボランティアセンター 学生の受け入れ

6月12日(日) FRN 事務所

NHKで放映されたナカノ憐のDVD「どこへ行くあなたの古着」を見てもらい、作業の一部を体験してもらいました



FRNは発足から25年が経ちました。この間には内部、外部ともに大きな変化を経験しながら今日に至っております。これまでのあれこれを、代表と副代表の皆さんに話していただきました。

長い間FRNの活動にかかわってきた方々だけに、話は多岐にわたりました。紙面の関係でその一部だけしかお伝えすることができないのが残念ですが、今後の活動に活かしていければと思います。

(お断り：紙面の都合で、発言者の氏名は割愛させていただきました)

日時 2016年11月9日(水)

場所 FRN事務所

出席者 赤岡清子、志澤希久子、黒柳市枝 司会 室田美和子、安井恵子



出席者

司会 どうぞよろしくお願いいたします。

**FRNの運営面で最も変わったことは運営資金ではないでしょうか？**

**以前は回収のお金で運営できていたものが、回収量が減ってきてそれだけでは運営できず、きものフェアの収入で運営されているのが実情です。そこのあたりのところを少し詳しくお話しいただけませんか？**

発足当初は古布古着の回収量も多い上に、回収業者の買い取価格も1キロ10円でしたから、その収益で事務所を運営できました。しかし行政回収が始まってからは回収される分量が減り現在は買い取価格も1キロ2円と大幅に値下がりしました。

FRNの運営には事務所、倉庫の家賃をはじめ、ボランティアの皆さんの交通費、活動費も経費として必要です。現在ではFRNの回収による収入は少なく、主な収入源は年3回の「リサイクルきものフェア」です。ちなみにFRNの回収による1年分の収益は、家賃の1ヶ月分に満たず、きものフェアの収入でFRNを運営している現状です。

25年の活動の中で拠点は減り、きものフェアに携わるボランティアは増えてきました。きものフェアを始めたころは規模も小さく運営委員だけで開催できていました。しかし拠点が減る事で運営委員が減り、一方できものフェアが大きくなっていき、「回収」と「リサイクルきものフェア」が大きな活動となってきました。

ちなみに横浜市内の地区連絡会の運営は市の補助金でまかなっています。しかし補助金は行政によって違い茅ヶ崎市、逗子市・葉山町のように無いところもあります。

司会 **FRNの回収は1拠点50キロ、トラック1周で2トンを集める約束だったのがどんどん減ってきました。最初の約束を果たせない今、回収方法をかえたり、拠点を増やすなどいろいろ考えていかなければなりません。その辺はどのようにお考えですか？**

最初に回収が始まった頃は1配車2トンが回収業者とFRNの約束事でしたが、行政回収が始まったところからそれが崩れてきました。回収拠点数も300ほどあったものが減って行き、回収量も減りました。しかし行政回収が始まると回収されたものに違いがあることがわかりました。行政回収の場合は、洗濯されていない物などが混在されている事が多いと聞きます。FRNで集めている古布・古着は「洗濯済みの物をビニール袋に入れる」と約束しており、PRをして集めているので、99%近くがゴミとならず資源として活かされています。その違いは大きいと思います。FRNとしてもそこにこだわって市民活動としての回収活動をしています。

FRNの拠点の方からも行政回収が始まってまもなく、私たちの市民活動としての役割は終わったのではないかと、との声があちこちから出ましたが、FRNのこだわった出し方や活動を理解し回収を続けて欲しい、と残っているのが今の方々です。

1 拠点増えたと思うと2 拠点なくなったりするのが現状です。拠点を持っている方々も高齢化してきて続けたいけれど続けられない現実もあります。しかし拠点、回収量を増やす努力は今まで以上にしていけないといけないですね。

**司会 回収量の減少は町の変化も影響していますね**

最初から拠点になっていたコープやトヨタの販売店の閉店があり、地域をまとめていた店が無くなったのは痛手でした。当初は区役所、小学校、保健所なども拠点として参加していましたが行政回収が始まるとなくなりました。私たちも初めのころは勉強会もずいぶん行っていましたが、年月が経つと声かけの回数も減ってきました。しかし今後も継続的に声掛けをしていかないと続いていかないと思っております。

**司会 これからどのようにしていくか？今後の展望はいかがでしょうか？**

南区に事務所を設けて15年になりますが、現在の地域とのつながりは、男女共同参画センター横浜南(フォーラム南太田)、地域作業所2ヶ所(えくぼ、あいの木きょうしん)、睦ケアプラザ、蒔田エコサロンの会、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ、です。男女共同参画センター横浜南ガールズ講座修了生(ガールズ)もボランティアとして欠かせません。これらは日々の人との交流から始まっています。いかに人と出会う場を作っていくかが大切です。今25年やってきた活動から更に進めていくことを考えた時、回収は基本の活動です。単に回収するのではなく、地域や人とのつながりによって、回収の輪、リサイクルの輪を広げていくことで、これからのFRNが見えて来ると考えます。今関係ができた所に回収拠点をもうけてもらうことを進めていきたいです。そこにつなげていく事を意識して活動をしていかないと、これからのFRNはないのではないかと思います。またこれからのFRNの活動と言う事になるとやはり学習が一番ではないかと思います。FRNの回収活動やリサイクルについてPRし、回収する事に留まらず、回収された布がどのように生かされているかを話す、伝えるということが大切だと思います。そのためには私達も勉強会や講演会を開いて、FRNの活動を広げていきます。様々な場で広報もしていきます。

**司会 運営委員が減り、そのうえ運営委員会に出席して下さる委員も減っているのが現状です。**

以前は委員の数も多く運営委員会で集まると、各地区で行っていることの情報が入って来ましたが、今は地区からの情報が入って来ません。他の地区が色々な催しをしているようですが、情報が全体のものになっていかなないのがもったいない。地区の方々が運営委員会に出席する事で以前のように情報交換ができるとまた盛り上がりつつあるのではないのでしょうか。もう一度あり方を考えなければならぬと思います。

**司会 ホームページはどうですか？**

私達世代は身近ではないとの声もありますが、外部に発信する媒体としては欠かせません。内容を充実し更新は早く行います。

**司会 来期と言う話が出ましたが…**

運営委員会で何度か議題にも出ている会則の見直しがあります。発足当初から年月が経ち実態とかい離している部分もあり現状にあったものにしていきたいと考えています。

また設立の目的の一つであるFRN基金ですが、今までの話からもわかるように資金が潤沢ではない現状では以前ほどの額は出来ない事をご理解いただき、しかし少しでも多く基金から寄付ができるように頑張っ続けていきます。

**司会 色々な事を見つめ直し、見直す時期に来ていると感じます。ありがとうございました**



### 和布講習会

7月21日(木)

フォーラム南太田 16人参加

ゆかたでチュニック・布花ブローチ作り

夏フェアで希望者を募集し、みなさん買い上げたゆかたを持参しての参加です

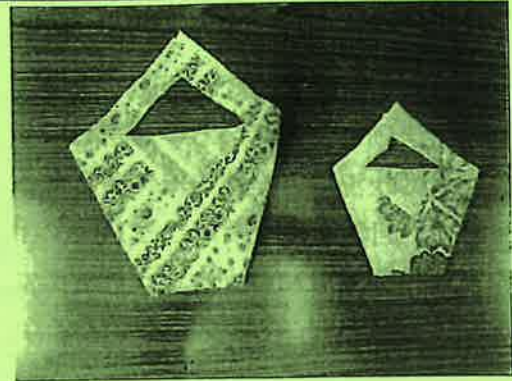


### 南まつり

7月31日(日) 南区蒔田公園

ボンドとはさみで作るミニバック

こどもを対象に簡単なバッグ作りをしました  
用意した40個分の材料が品切れになるほどの盛況でした



### みんなの「わっ！」フェスタ

11月5日(土)

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

FRNのパネル展示、リテックス品の販売と

「くるみボタンのヘアゴム」作りの講習をしました



たんすデザイン

手触りしたい、けれどまだ生かしたい

そんなときの持ち込み先・送り先



スーツや礼服の  
ユニクロ、ジーユー製品の  
リサイクル

あななくった洋服、  
衣類、古布の送り先  
（送料は無料です）

明日の友 222

気持も装いも  
かるやかに

川表原の菊

大音・吉布

〒222-0011 神奈川県横浜市磯子区磯子1-1-1  
TEL 045-522-1111  
FAX 045-522-1112  
E-mail: ashi@asahi.co.jp

『明日の友』（婦人の友社発行）初夏号に掲載されました

### 2017年度 予定

- ・2月28日(火) 2016年度 FRN報告会  
会場：蒔田エコサロン
- ・4月8日(土) 「春のリサイクルきものフェア」  
会場：かながわ県民センター
- ・7月初旬予定 「夏のリサイクルきものフェア」

# 代表のひとこと

## 25年から先も楽しく活動を続けていくために・・・

赤岡 清子

25年前の6月20日(土)、忘れもしない大雨の日、ファイバーリサイクルネットワークは立ち上がり、本年6月20日(月)25年目を迎えました。立ち上げた時と比べ世の中の動きが大きく変化してきた中で、市民団体の活動を四半世紀もの間続けてきた事はとても大きな歴史だと思います。しかし25年経った今、長く関わってきたメンバーと一緒に活動を続け繋いでいってもらい形を整える大事な時だと思っています。「古布・古着」の回収の仕方も地域のご理解と協力で少しずつ変えて行かなければなりません。そして活動を支えている年3回の「リサイクルきものフェア」の準備の仕方も、関わっているメンバーが準備の状況など全体の流れが見える工夫として、倉庫と事務所側の作業にも関わってもらいようにしました。回数を多く設定した11月の作業日は只々夢中で段ボールを開け続け、寄付品の整理に必死でした。この作業日には回を追うごとにガールズの方も多く参加してくれました。経験豊富なお姉さま方に教えてもらいながら、大きな戦力となり作業が進みました。

この様に皆さまに支えられてFRNの活動は続いてきました。これからも試行錯誤しながら進めていきますが、この思い切った変えた進め方が、これからのFRNの継続と広がりにつながっていくと信じ、今の作業の仕方を続けて行きますので、これからもご協力宜しくお願い致します。

### 2017年度 年間回収予定

平成28年12月1日確定

地区名	拠点数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2018年
1 旭区	7		15(水)		19(水)		21(水)				18(水)			
2 磯子区	2				19(水)		21(水)				18(水)			
3 金沢区	3			21(火)				18(火)				21(火)		
4 港南区	3			21(火)				18(火)		19(火)				
5 栄区	2	19(木)		21(火)				18(火)				21(火)		
6 瀬谷区	1			21(火)				18(火)		19(火)				
7 戸塚区	8			21(火)				18(火)		19(火)		21(火)		
8 中区	6	11(水)			19(水)		21(水)				18(水)			
9 南区	2	20(金)			19(水)		21(水)				18(水)			
10 川崎・麻生区	2		14(火)		11(火)			11(火)			10(火)	14(火)		
11 川崎・多摩区菅	1					11(木)						9(木)		
12 川崎・多摩区登戸	2					9(火)						14(火)		
13 川崎・宮前区	8	17(火)			18(火)			11(火)			17(火)			16(火)
14 茅ヶ崎市	8		6(月)		3(月)		5(月)		7(月)		2(月)		4(月)	
15 逗子・葉山町	7					16(火)						7(火)		
16 あしがら地区	1	毎月第2木・金・土に回収を行い、秦野工場に持ち込む												
17 港北区	休													
18 川崎・観音町	休													

\* 地区連絡会 18 (2地区休み中) 拠点数 63

\* 新拠点追加希望の場合は、回収予定の1ヶ月以上前に、周辺地図を添付の上登録依頼をして下さい。  
 ※登録の際の注意⇒氏名 千番号、住所の市区町村番地 TELは市外局番から記入、FAXの有・無も明記してください。

◎ファイバーリサイクルネットワークは25周年を迎えました  
 25周年記念の会 2016年12月13日(火)13時～15時  
 男女共同参画センター横浜南(フォーラム南太田)3階大研修室